

2015年4月16日

森永製菓、新事業創造への取組 「Morinaga アクセラレータープログラム」を始動 ～ベンチャー、中小企業と新事業開発を目指す～ 4月21日（火）ビジネスコンテストにて参加チームが決定！

森永製菓株式会社（東京都港区芝・代表取締役社長 新井 徹）は、2014年12月より、新事業創造を目指した新たな取組「Morinaga アクセラレータープログラム」を立ち上げました。この取組は、既存事業の枠にこだわらず、次代の柱となる新事業の可能性を見出し、事業化へと結び付けるための取組です。4月21日開催の「ビジネスプランコンテスト」で、公募アイデアの中からプログラム参加チームが決定されます。

■「Morinaga アクセラレータープログラム」開始の背景

森永製菓では、これまでも事業拡大を目指してイノベーション事業、新事業開拓への取組を続けてまいりました。しかしながら、発想の起点を自社内に限定したこれまでの取組には、内部であるがゆえの既存事業の経験に縛られやすい発想の制約、事業化への可能性判断のむずかしさ、有形無形の当社経営資源に対する過小評価などの課題もありました。

そこで、森永製菓では、より広範で、枠にとらわれない事業創出を目指すべく、新事業発想の起点を自社内だけではなく起業意欲にあふれたベンチャー企業や中小企業へも広げ、当社の経営資源を活用した食関連の新事業のアイデアを広く公募することとし、企業とベンチャー企業・中小企業が組んでアイデアから事業立ち上げを目指す「アクセラレータープログラム」を多くの企業で推進している01-Booster社と共同し、食品メーカーとして日本初の本格的なオープンイノベーション※、「Morinaga アクセラレータープログラム」を昨年12月に始動いたしました。

このプログラムは、「食のチカラで世界に新たなイノベーションを！」をキーワードに、森永製菓とベンチャー企業、中小企業が足りないリソースを相互に補完しあい、お菓子に限らない革新的な食関連のビジネスを共創するプログラムです。起業家は森永製菓の経営資源を活用した事業アイデアを応募して事業開発を目指し、森永製菓は専門家を準備してその事業開発をサポートすることで、相互に、事業化への積極的かつスピーディな推進を図ってまいります。

■日本初の食品メーカーによるアクセラレータープログラム

食品企業として本格的な「アクセラレータープログラム」に取り組むのは、当社が日本初となります。海外では、ディズニーやナイキなどの大手企業が積極的に取り入れ、日本でも近年はIT関連企業中心に取組が増えつつある「アクセラレータープログラム」ですが、日本企業は、新事業の創出も自社内のプロジェクトとして取り組もうとする傾向が強いため、一般企業での本格的な「アクセラレータープログラム」への取組はまだ少ない段階です。当社では、100余年培ってきた当社の豊富な経営資源を元に、

※オープンイノベーション：自社技術や経営資源だけでなく他社やベンチャーが持つ技術やアイデアを組み合わせ、新しいビジネスモデルや研究、商品開発につなげるイノベーションの方法のことを指す。

発想の豊かなベンチャー企業・中小企業など起業家からのアイデアを得て、共に取り組むこのプログラムで、事業の可能性を大きく広げたいと考えております。

■40名の専門家が事業開発を支援。『メンター』主導型アクセラレーター

「Morinaga アクセラレータープログラム」には、「メンター」と呼ばれるさまざまな専門知識を持ったアドバイザーを、社内外から40名設定しています。「メンター」は、生産技術、品質管理、マーケティング、知財、法律、広告など多岐に亘った各分野の専門家たちであり、公募から選ばれたアイデアから事業開発へ向けて取り組む起業家を、専門知識で支援します。通常、ベンチャー企業にとってアイデアから事業化への転換は非常に難しいステップですが、専門家が事業開発プロセスを支援することで、ベンチャー企業の継続率は90%（通常10～30%）にも高くなると言われています。「Morinaga アクセラレータープログラム」では、40名もの豊富なメンターを設定することで、より確率の高い事業化推進に取り組みます。

■「Morinaga アクセラレータープログラム」の進行ステップ

プログラムは下記のステップで進みます。4月21日にはビジネスプランコンテストを開催します。事前セミナーへの参加者数や3月末の応募件数は、当初予測を上回る反応が得られています。

2014年12月 「Morinaga アクセラレータープログラム」開始を01-Boosterからニュースリリース

2015年1月 「Morinaga アクセラレータープログラム」HP開設

<https://www.morinaga.co.jp/company/accelerator/>

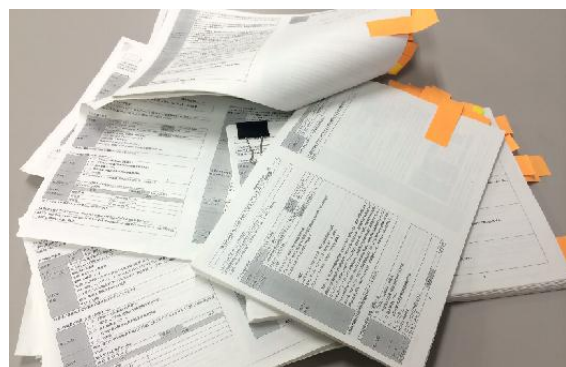
2015年2月 第1回事前セミナー&交流会
150名超の起業家、ベンチャー企業、
中小企業が参加



▲第1回事前セミナーの様子

2015年3月 第2回事前セミナー&交流会
80名（収容人数上限）の起業家、
ベンチャー企業、中小企業が参加

2015年3月末 ビジネスプラン応募締切
応募件数：132件



▲応募ビジネスプランの数々

2015年4月 ビジネスプランコンテスト
書類選考後の選抜チームによる
ビジネスプランプレゼンテーション
プログラム参加チームを選抜（5～10件予定）

2015年4～8月 選抜チームによる事業開発。
森永製菓経営資源の活用、メンターからの支援

2015年8月下旬 事業開発結果のプレゼンテーション

■ 「Morinaga アクセラレータープログラム」への期待と課題

2月の事前セミナーから3月末の応募締切まで、「Morinaga アクセラレータープログラム」は、多くの起業家から意欲的な参加を得ています。2月の事前セミナーには約150名、3月のセミナーには上限の80名の出席があり、3月末までに寄せられた132件のビジネスプランの応募者の中には、ベンチャー企業や中小企業だけでなく、一般企業の役員、大学教授、現役高校生、大手コンサルタント会社も含まれ、予想以上に幅広い業種業界、年齢層からの参加希望が集まっています。

当社では、「Morinaga アクセラレータープログラム」に対する関心の高さと応募件数、応募者層の幅広さを、起業を目指す人々から見た当社経営資源のポテンシャルの高さと受け止めると同時に、当社がこれまで越えきれなかった自社の枠を打破する、画期的な新事業の可能性の息吹であると捉えています。

森永製菓では、既存事業の拡大とともに、新事業での大きな躍進は今後の必須必達のテーマと考えています。日本に初めて西洋菓子の技術と文化をもたらした創業者・森永太郎の「パイオニアスピリット」に習い、「Morinaga アクセラレータープログラム」に参加した起業家と真摯に向き合い、メンターも活用して事業開発を積極的にサポートし、次代を拓く大きなイノベーション創出を目指してまいります。